

受付日	提案テーマ	提案内容	主管課の考え方や処理方針	主管課
1月4日	成人式など大きい行事について	<p>連日、大阪では医療体制がひっ迫してきていますということが知事やメディアからメッセージが出される中でとても不安な日々を送っています。大阪はまだレッドステージ期間中ですが成人式はいつもと同じように体育館ドームに集まって開催されるのですか？</p> <p>成人式は一生に一度だから開催することはとても良いことだと思います。でも一度に人が集まるのではなくて人数とか出身地で分けて分割ですとか密集しにくい工夫は必要だと思います。</p> <p>成人式に限りませんが、たくさんイベントや行事が中止になってる中で大きいイベントをされるときは、なぜこのイベントをするのかやいつもと違う感染防止の体制なども発信してもらえると、皆が安心すると思うのでお願いしたいです。</p>	<p>成人式につきましては、1月10日(日)午後1時30分から、熊取町総合体育館(ひまわりドーム)において、様々な対策を行ったうえで開催する予定です。</p> <p>感染症対策としましては、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新成人・保護者・来賓及び主催者の入口を分け、それぞれが一方通行で会場へ入場できるよう誘導 ・非接触型検温器(サーモグラフィ)を用いての検温の実施 ・会場各所に消毒液の設置 ・参加者、運営に携わる職員・団体のマスク着用 ・新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)・大阪コロナ追跡システムへの協力依頼 ・来賓・招待者及び主催者の人数を制限(例年より8割程度削減) ・式典プログラムを簡素化し、成人式の時間を短縮 ・新成人の家族の人数制限(新成人1人につき2人まで) ・密を避けるため、新成人の座席を一定の間隔を開けて校区ごとに設置 ・密を避けるため、保護者席は2階観客席のみとし、一列ずつ間隔をあけて座るよう座席を制限 <p>また、町ホームページにおいて、成人式に参加される方へのお願いとして、上記の感染症対策を一部公開しておりますので、ご一読いただければ幸いです。</p> <p>https://www.town.kumatori.lg.jp/kakuka/kyouikuiinkai/shougaiyakushushu/ishin/kurashi/seijinsiki/1352943459515.html</p> <p>なお、成人式当日のひまわりドームの一般利用(プール及びトレーニング室)を9時から17時まで制限させていただき、施設内に参集する人数を抑えております。</p> <p>国が示す「イベント等における感染拡大防止ガイドライン」を遵守し、準備を進めておりますが、成人式を開催するまでの間、日々変化する新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、新成人を迎えられる方々の門出を安全にお祝いできるよう努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。</p>	生涯学習推進課

1月8日	マスク着用 困難者への 対策	<p>私は、視覚・聴覚・触覚に、感覚過敏があります。 屋外は眩し過ぎて、目が開かないので、常にサングラス、複数人の話し声、テレビの音などが同じ音量で混ざり合い、聞き分けができないので、隣で話す人の声のみを拾える耳栓の着用。服は素材で選び、ゆったりさせ、タグは全て取るなど色々工夫をして、なんとか、一般社会に参加できていました。 昨年からの新型コロナウイルス騒動で、どこに行ってもマスクの着用が必須の雰囲気になっています。色々な素材・形・着用方法のマスクを片っ端から試しましたが、どれも耐えられる物はありませんでした。 ノーマスクの大人はとでも珍しく、目立ちます。周りの視線が苦しいです。 必須ではなく、お願いと掲示している店で、他人との距離に気遣い、「マスクができません。咳エチケットできます」のバッジを身体の前後に付けていましたが、初対面の方に叱責されました。 「自分も嫌だけど我慢してるんだ」「みんなが不快な思いをする」「マスクできないなら家から出るな」など、色々な場面で非難を浴びました。 利用禁止になった施設もあります。 マスクは推奨されている感染症対策である事はわかっていますが、どうしてもできません。 こんな風に産まれたくなかったし、散々努力してきて、もう努力でどうにもできない事を非難され、終わりの見えないコロナ禍に、将来の希望も見えなくなりました。 精神的に追い詰められて、外出が怖くなり、仕事にも行けなくなりました。 大好きな仕事に就いていたのに、もうすぐ、経済的にも困窮しそうです。 軽度障害を持って産まれましたが、とても、とても努力して、楽しく生活していました。マスクで全てが崩壊なんて、残念です。 最後に、お願いがあります。熊取町HPや、放送でも、感染者や関係者、医療従事者への差別に言及していますが、マスク着用困難者へも言及していただけないでしょうか？ 放送で「マスクの着用」の声が力強く、着用できない私は気持ちえぐられる思いをしています。 本当に着用できずに困っている人が居ると、少しだけでも言及して頂けると幸いです。 もしくは、マスク着用困難者が危険因子で、自粛をするべき、などのお考えであれば、その旨伝えて頂きたいと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、外出時にはマスクを着けることが新しい生活様式のひとつとなりました。 しかし、マスクを着けたくても、さまざまな理由で着けられない方がおられますが、周囲から理解を得られず、誤解や厳しい視線を受けることもあると承知しております。 マスクを着けて外出することが当たり前となった今日ですが、マスクを着けていない方には、まずは、「何か理由があるのかもしれない」と想像してみて、思いやりの心をもつことが必要と考えます。 国においても、マスクを着けることが困難な方への理解啓発については、厚生労働省から周知されているところです。 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage-14297.html 本町においても、「マスクを着けられない方へのご理解をお願いします」として、町ホームページにて周知を図ってまいります。</p>	障がい福祉課
1月12日	合併について	<p>近隣の市では新たな取り組みが新聞やテレビなどのメディアに取り上げられていることをよく拝見します。 岸和田市などでは独自のキャッシュレス決済によるプレミアムポイントやアドベンチャーワールドとの協定、フィッシングパーク、貝塚市でも西日本初のクリケット場の建設、泉南あなごの養殖や泉南りく公園、泉佐野市のふるさと納税の取り組みなどが行われているようです。 残念ながら熊取町の政策がメディアに取り上げられていることはほぼ見ることはありません。 新たな取り組みがされていないのかそれともメディアに取り上げられるような政策ではないかわかりませんが、このままの無策であれば転入転出策を行っていても近隣市との競争に負け、埋没してしまうのではないかと考えています。 そこで提案ですが、近隣市と合併する方が住民にとっては今よりいいまちになるのではないかと思います。 維新の町長ですから市町の合併は推進されていると思います。是非、合併に向けた取り組みを進めていただきたいと思います。</p>	<p>現時点におきまして、本町として合併に向けた具体的な計画はございません。 一方、人口減少・少子高齢化社会に対応できるよう、様々な分野において、周辺自治体との広域連携による効率的かつ充実した住民サービスを提供できる取組について実施・検討しております。 また、目新しい取組が見当たらないのご指摘につきましては、本町におきましても、令和2年7月に本格的に開園しました「和田山BerryPark」、隣接するキャンプ場である「野外活動ふれあい広場」及び西日本最大級の大型すべり台やスケートボード場を備えた「永楽ゆめの森公園」、さらには、予てから本町が進めておりました宿泊施設誘致の取組が実を結び、いよいよ本年2月に「スーパーホテル熊取駅前店」がオープンします。オープンに向けましては、地元雇用、町認定ブランド『くまとりやもん↑』の活用や地産地消等の取組はもとより、地域店舗との連携協力などについても協議を進めているところです。 なお、ご指摘のメディア露出につきましても、効果的なシティプロモーションに鋭意努めてまいります。 一例といたしまして、住民自らが地域を発信する仕組みづくりとして、子どもからお年寄りまで幅広い層を対象とした「YouTuber 養成講座」を住民提案協働事業「行政テマ型」として実施するなど、さらなる住民主体のシティプロモーションに向けて取り組んでいるところです。 以上、本町の発信資源をしっかりとメディア露出につなげることにより、まちの魅力を高め、ひいては本町の将来像である「住みたい住んでよかったともにつくる“やすらぎ”と“ほほえみ”のまち」を実現し、次世代に熊取町の良さをしっかりと引き継げるよう努めてまいりますので、ご理解ご協力賜りますようお願いいたします。</p>	企画経営課

受付日	提案テーマ	提案内容	主管課の考え方や処理方針	主管課
1月21日	妊婦特例給付金について	<p>新築一戸建てを建設し、泉佐野市から熊取町へ2020年9月に引っ越ししてきました。6月に妊娠がわかり泉佐野市で母子手帳を貰い、2021年2月に出産予定です。もちろんこのまま熊取町に住むつもりで、産まれてくる子の出生届、住民票も熊取町になります。</p> <p>ですが、熊取町のコロナウイルスによる妊婦特例給付金の対象にはならないと言われました。</p> <p>泉佐野市に問い合わせた所、泉佐野市の妊婦特例給付金の対象は出生した子と親の現在の住民票が泉佐野市にないとだめだそうです。</p> <p>なので両方の市どちらも対象から外れてしまい、給付を受ける事ができません。泉佐野市には今後住むわけではないので対象外なのはまだ理解出来るのですが、熊取町に今後も住み続けるのに給付が受けられないというのは納得できません。ただでさえ3人目の子という事もあり、金銭的に余裕があるわけでもないうえにこのコロナ禍、少しでも何かの給付があったらと思います。</p> <p>少数かもしれませんが、同じような時期に転入、出産した方もいるので柔軟な検討をお願い致します。</p>	<p>住み続けるまちとして、熊取町を選んでいただき、本当にありがとうございます。</p> <p>ご提案の妊婦特例給付金とは、妊婦応援特別給付金の事かと思いますが、当給付金につきましては新型コロナウイルス感染症の影響に伴う「熊取町版緊急・生活支援」として、熊取町独自の取り組みとして行っております。</p> <p>令和2年9月に熊取町に引っ越しに来られたとのことですが、当給付金は令和2年4月28日から7月31日までの間で妊娠され、かつ熊取町の住民である事が要件となりますので、支給対象とはできないものです。お気持ちは十分に理解いたしますが、何とぞご理解を賜りますようお願いいたします。</p> <p>妊娠・出産・子育てに加えコロナ禍といった、身体的・経済的にご負担の大きい中とは存じますが、熊取町ではこれからも子育て世代をはじめとしたみなさまの不安が少しでも軽減できる取り組みに努めてまいります。そして貴殿をはじめとした住民の皆様へ、熊取町に住んで良かったと思っただけの子育て支援やまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、重ねてご理解を賜りますようお願いいたします。</p>	子育て支援課
1月22日	学童の先生のマスクや態度	<p>昨日●●●●公園に保育園のお迎えの後娘と自転車で出かけました。</p> <p>その際学童の先生？公園で遊ぶ子供を見てる人？があごマスクでした。</p> <p>この緊急事態宣言下において、子供の命を預かる仕事をしていて、あれはひどい。</p> <p>私と目が合った途端にヤバイという顔をして鼻マスクになりました…。</p> <p>何回かその公園に行きますが、おじさんも、若い人も見るたびあごマスクです。子供もマスクしてない子供が多いです。</p> <p>小学校ではしてるやろに。</p> <p>その後、子供たちを●●●●に戻す時に、全く子供に伝わらず10分ぐらい帰るまで一帰るでーと、一本調子で完全に子供になめられていました。</p> <p>なんとお粗末な対応かとびっくりしました。</p> <p>保育園でも、小学校にあがったときの学童はどうする？という話題になって、学童に通わせてる先輩ママの話によると、大変施設の中が汚くて、靴下も黒くなるよとか、制服が破れるよとか、物がなくなる、綺麗好きやアレルギーあったら無理やで、入れたけど子供も大人も辛すぎて途中でやめる人も多いよと聞きました。</p> <p>でも、(ここが大事)あそこしか預かってもらえてるところがないと嘆いていました。</p> <p>このような状況だということは、町長さんをご存知なんですか？</p>	<p>現在、熊取町の学童保育は、「NPO子どもとおとなのネットワーク」が指定管理者として施設の管理運営を行っています。</p> <p>まず、ご指摘の学童保育所支援員のマスク着用件ですが、新型コロナウイルス感染症対策は、町としても児童の身体の安全確保の観点から最優先すべきものと考えており、指定管理者に対しては、従前からマスク着用と施設消毒の徹底、身体的距離の確保等、感染防止対策の徹底を、継続的に指導してきたところです。</p> <p>しかしながら、利用者の方から感染防止対策に対し不安の声が町に寄せられたため、12月と1月に、保育課の職員が各学童保育所の全クラブに断続的に立ち入り調査を行いました。結果、ご指摘のとおり、感染症対策が不十分と判断せざるを得ないクラブが少なからずあったことを確認したため、指定管理者に対して、改善策の取り組み状況(経過)及び改善の状況等について、報告を求め、過日提出を受けたところです。</p> <p>指定管理者からの報告内容の検証に加え、今後も定期的に立ち入り調査を実施し、指定管理者には対応が不徹底な事項を現場で強く指導したいと考えておりますので、ご理解賜りますよう、よろしく申し上げます。</p> <p>また、支援員の児童に対する指導方法や清掃などの施設管理に関するご指摘についても、子どもに対する適切な指導や、児童をお預かりする保育施設の清潔の維持は当然のことですので、支援員の対応や施設の衛生面の管理を踏まえ、利用者から、現在の学童保育所の運営では安心して子どもを預けることは困難であるとの意見をしっかりと伝えるとともに、利用者が不安に感じることがない、安全安心な保育が提供できるよう、指定管理者には、学童保育所の運営の改善を厳しく指導し、支援員全体の資質の向上と保育環境の改善を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解くださいますよう、よろしく申し上げます。</p>	保育課
1月28日	小中学校の給食費について	<p>令和3年3月末まで給食費を無償化としていただき大変助かっております。</p> <p>令和3年4月以降はどうなるのでしょうか？コロナの影響で収入が減っている家庭がたくさんあると思いますが、就学援助を受ける事ができないギリギリのラインの家庭からすると、大変厳しいです。どうかご検討下さい。お願いします。</p>	<p>今年度の「学校給食費無償化」については、新型コロナウイルス感染拡大の影響による住民の方々の負担軽減を図るため、熊取町独自の生活・経済支援として、町立小・中学校給食費の補てんとして、給食費を無償化したところであり、現時点では、令和2年度限りの予定とさせていただいて現ところとです。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況やワクチン接種の進展による感染収束の見通し等を十分に踏まえ、住民の皆様にとってどういった生活・経済支援が必要かを見極めてまいりたいと考えております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、貴殿をはじめ多くの方が、収入減少をはじめ大変厳しい状況であると認識しており、お気持ちは十分に理解いたしますが、誠に申し訳ございませんが、何卒、事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。</p>	学校教育課